

国際セミナー
「IUU 漁業対策とトレーサビリティの推進」
2018年6月8日(金)
後援:国立研究開発法人 水産研究・教育機構

総合司会:GR Japan 株式会社 本田 朋

13:00~13:10 開会挨拶・IUU 漁業対策フォーラム提言発表
IUU 漁業対策フォーラムとは・提言の発表(総合司会)

13:10~14:30 セッション1 - 世界及び日本における IUU 漁業の現状と影響
ファシリテーター:セイラーズフォーザシー日本支局 井植 美奈子

<講演>

- オーストラリア ウーロンゴン大学 准教授 クエンティン・ハニック 氏
グローバル・フィッシング・ウォッチ ブライアン・サリバン 氏
「世界における IUU 漁業の MCS(監視・管理・調査)の現状と技術革新」
- 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 顧問 大関 芳沖 氏
「日本周辺における IUU 漁業モニタリングの現状」
- 三重大学 准教授 松井 隆宏 氏
「IUU 水産物の流入による日本の漁業への影響」

<パネルディスカッション>

14:45~16:00 セッション2 - 企業・漁業者によるトレーサビリティの取組
ファシリテーター:オーシャン・アウトカムズ 日本支部長 村上 春二

<講演>

- 株式会社臼福本店 代表取締役社長 臼井 壮太郎 氏
「海とともに生きる トレーサビリティへの取組」
- 東京大学農学生命科学研究科 助教 石原 広恵 氏
「エコラベルによるトレーサビリティの取組み」
- ニューイングランドシーフード社 キャシー・レイスク 氏
「海外事業者の取組」
- グローバル・フィッシング・ウォッチ ネイサン・ミラー 氏
オーストラリア国立海洋資源安全保障センター(ANCORS) キャサリン・セト 氏
「違法洋上転載とトレーサビリティ」

<パネルディスカッション>

16:15~17:00 セッション3 - IUU 水産物の流通防止に向けた施策の推進
ファシリテーター:シーフードレガシー株式会社 代表取締役社長 花岡 和佳男

<講演>

- 一般社団法人 食品需給研究センター 主任研究員 酒井 純 氏
「水産物のトレーサビリティを求める諸外国の制度と日本のガイドライン」
- WWF ジャパン 自然保護室 海洋水産グループ長 山内 愛子 氏
「高リスクの魚種とその課題」

<パネルディスカッション>

17:00~17:30 総括セッション
ファシリテーター:シーフードレガシー株式会社 代表取締役社長 花岡 和佳男

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 理事長 宮原 正典 氏
オーストラリア ウーロンゴン大学 准教授 クエンティン・ハニック 氏

17:30 閉会